

太田女子高等学校 学校評価 一覧表 ① (令和3年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○授業の内容に、生徒の85%以上が満足している。	○演習や言語活動を効果的に組み込むなど、生徒が意欲・集中力を持続できる授業を工夫する。	A	A	学校として育成したい資質・能力を見据えて常に授業改善を意識し、今後一層生徒の満足度を向上させるよう努めたい。	A	A	授業内容の難易度や理解度、授業での充実感等において多くの生徒が満足している。今後も一層授業改善に努める。
		○習熟度別の授業形態に、生徒の85%以上が満足している。	○生徒の学力に応じた授業内容を工夫し、生徒の理解度や学習意欲を高める。	A	A	さらなる満足度の数的向上を目指しながら、現在の方策実践を維持・継続していく。	A	A	2年数学の満足度が第1回から7.3%上昇、生徒の実態・ニーズと指導法が合致したと考える。現方策を継続したい。
		○自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	○生徒が学校生活で充実感を得られるように環境を整える。	A	A	97%の肯定的回答に慢心することなく、少数生徒の声にも丁寧に耳を傾けていく。	A	A	様々な教育活動において、反省点を確認し、改善できるよう努めている。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導を行っていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○進路実現に向けた学習指導に満足している生徒が80%以上である。	○65分を有効に活用し、授業改善に努めると同時に、土曜学習や課外授業の内容を充実させる。	A	A	現在の実践効果を検証し、改善を加える。	A	A	高い肯定評価を得ているが、引き続き指導の充実・効果の向上に努力する。
		○生徒の65%以上が図書館を利用している。	○教科・学年と連携し図書館の利用を促進する。	B	A	昨年度より改善傾向だが、感染防止対策として座席減・短時間利用を継続せざるを得ない。貸出利用を更に呼びかける。	A	A	感染症対策で短時間利用の呼びかけを継続せざるをえない中、貸出利用がより増加した。今後も工夫を続けたい。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。	○予習復習を習慣化させ、基礎学力と応用力を定着させるように指導、課題を工夫する。	B	A	基礎学力の定着を基盤にしつつ、今後学年進行に従い、思考力・応用力の養成に指導の力点をシフトする。	A	A	年度を追って、生徒の肯定的評価ならびに取組への積極性が増してきた手応えを感じている。さらに支援していく。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○国公立大学の合格者数が140名以上である。	○進路実現のため、学年と教科間で連携を密に指導する。	-	/	第2回アンケート・年度末の入試結果等により点検評価する。	-	/	現在、入試本番に向け、教員生徒共に鋭意努力中である。年度末に検証する。
		○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上である。(2年)	○授業・課外・補習等を通じて全体のレベルアップを図る。	(B)	-	7月模試では、偏差値60以上の生徒は29.4%であり、継続努力していく。	(B)	-	11月は30.6%。各教科の弱点を把握し改善に向けた課題や課外を実施する。
		○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上である。(1年)	○授業・課外授業を通して基礎学力の向上を図る。	(B)	-	7月模試では、偏差値60以上の生徒は34.2%であり、射程範囲内と考える。	(B)	-	11月で36.4%。進路目標を明確にして学習に向かわせると同時に、授業の一層の充実を図る。
5 学校はいじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	5 学校はいじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	○しっかりと清掃に取り組んでいると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が主体的に清掃活動を行うことができるよう、環境を整える。	A	A	コロナ対策として実践している消毒が習慣化されたことが評価できる。	A	A	全校が同じ観点で清掃活動に取り組めるよう、清掃方法を具体的に示して効果があつた。今年度の方策を続ける。
		○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○生徒が主体的、積極的に活動するような行事計画を立案させる。	A	A	用具等の整備も継続して充実させる。校内公開のみだが文化祭を開催でき、多くの生徒が主体的に活動する場面を創出できた。今後も工夫を続ける。	A	A	生徒の主体的参加を支援できている。
		○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	○本校いじめ防止プログラムに従い指導を行う。	B	B	基本方針伝達を予定していたPTA総会中止につき、紙面等による説明機会の創出を工夫していきたい。	A	A	肯定的意見は多いが、さらに保護者に周知を図り、理解協力を得るようにする。
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○健康管理の重要性を理解し、維持や改善に努めていると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が健康管理できるよう情報提供を随時行い、健康管理を促進する。	A	A	健康管理の意識は上昇している。クロームブックを活用し日々の検温と記録指導を今後も継続実施していく。	A	A	学年と連携して生徒の状況把握に努め、情報提供や相談を積極的に行っている。
		○部活動が充実していると評価する生徒が85%以上である。	○生徒が目標を持って積極的に活動できるように指導する。	A	A	様々な制約の中でも懸命に活動に取り組む生徒たちを継続して支援する。	A	A	部活加入率(10月1年95.3%、2年89.3%)が高く、各部が成果を挙げている。
		○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止め、交通事故ゼロを目指す。	○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が60%以上である。	B	A	90%以上の生徒は安全指導に真摯を受け止めているが、自転車事故が2件あった。生徒会等と協力しながら、生徒の主体的活動を通じてヘルメット着用の必要性を自覚できるよう促していく。	A	A	事故件数に大きな変化なく、時折外部の苦情が入るがマナー改善が見られる。マナーアップ運動等で生徒会と連携することとし、生徒主体のヘルメットの着用率向上に向けた意識改善に努める。
7 計画的な指導を行っていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(3年)	○ヘルメット購入の案内紹介は機会を複数回設け、見本を手にとって見られるようにする。	C	C	スクールカウンセラーの支援等を受けつつ、欠席がちな生徒に対して継続してフォローする。	A	/	出席状況は良好である。
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(2年)	○自己管理能力を高め、学校を中心とした生活リズムを卒業まで保たせる。	B	/	心理・情緒的な理由から休みがちな生徒・家庭との連絡を密にし、孤立感を深めさせないよう支援を続ける。	A	/	出席状況は良好である。
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(1年)	○基本的な生活習慣を定着させ、魅力ある授業と、活気が出るようクラス経営を工夫する。	A	/	欠席の多い生徒に対して、スクールカウンセラーと学年団とで綿密に連携をとりながら支援を続ける。	A	/	出席状況は良好である。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○キャリアパスポート等を活用してLHRでの進路指導を充実させ、生徒の実態に応じた適切な進路指導を実施する。	○キャリアパスポート等を活用してLHRでの進路指導を充実させ、生徒の実態に応じた適切な進路指導を実施する。	A	A	校外のオンライン進路行事なども活用するよう紹介したり、個別面談を推進して、生徒自身が進路意識を高める指導を続けて行っていく。	A	A	高い評価を得ているが、引き続き学校の方針・目標に照らして内容の充実を努める。
		○社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて考えている生徒が80%以上である。	○探究学習と密接な連携の上で、キャリア教育の充実を図り、自己実現のために高い目標を設定させる。	A	A	探究学習との連携により、オンラインによる講演会や模擬授業の開催が実現し、生徒の言動にプラスの効果が生まれている手応えを得られた。	A	A	進路指導・キャリア教育の成果が表れつつあるが、引き続き指導の改善を行っていく。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○PTA関連行事に年1回以上参加している保護者が80%以上である。	○PTAの各行事についての保護者への告知やアンケート回収の方法を改善する。	C	B	長引くコロナ禍で年1回以上の行事参加者は約75%と、保護者の教育活動参観・参画には依然制約が大きい。	B	B	年1回以上参加している保護者が71.4%であり、目標の数値(80%)をやや下回った。行事について迅速に告知する。情報増と部活動ページ更新回数増を求める声が生徒・保護者ともに多い。
		○学校のホームページを月に2回以上更新する。	○全職員に更新方法を周知する。	B	C	8割が「ほぼ満足」の回答だが更新増を求める声に応える運用も考える。	A	A	
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○ICTを活用した情報配信に満足している生徒・保護者が70%以上である。	○各種連絡、配付物やアンケートをオンラインで配信・回収する。	A	A	肯定的回答のさらなる数値向上を目指しつつ、現在の方策を維持・継続していく。	A	A	十分活用されており、肯定的評価94%以上を維持している。
		○職員会議と朝会は、年間半数以上、ペーパーレスで実施している。	○職員会議資料閲覧用と朝会用のフォルダを共有ネットワーク上に整備する。	A	/	現在の方式が定着しており、業務の効率化にも役立っていることができていくため、現状を維持・継続していく。	A	/	ほぼ毎回実行されている。現行の方式を今後も続けていきたい。